

迦濕密羅國都

第十一圖解說

天 國都すりながる

すりながる (Srinagar) ハ迦濕密羅國ノ都城ニシテ、海拔五千二百五十英尺ノ處ニアリ、人口十一萬九千餘、市街ハ城中ヲ貫流セルじえるむ江ニヨリテ南北ノ二區ニ分タレ、又縱横ノ支流アリテ往來甚便ナリ、西曆六世紀ノ頃ばらわらせね王之ヲ開鑿シタリト傳フ、家屋ハ多ク木造ニシテ其重閣或ハ五層六層ニ上ルモノアリ、圖ハじえるむ江流ニ沿ヘル市街ノ一部ニシテ、萬家ヲ拔キテ立テルモノハ、しやはまだん、むすびト稱スル回教ノ大寺ナリ、其構造所謂まるたんど式ニ同ジ、

地 じえるむ江ノ樓船

迦濕密羅國ト稱スルすりながる都城一帶ノ地ハ、由來風景絶勝ヲ以テ聞ユ、都城ノ東南ニたくちすらいまんアリ、更ニ東スレバさいかさふあい園アリ、だる大湖ノ東畔ニ沿ヒテ北センカにしやと園アリ、しやりまる園アリ、其對岸ニなぢぶ園アリ、其他形勝ノ地枚舉ニ遑アラズ、一葉ノ樓船ヲ泛ベテじえるむ江ヨリだる湖ニ入り、轉ジテそでるこん湖ニ入り、晝航夜泊觀望ヲ恣ニセバ、風光眞ニ明媚ナリ、圖中ノ河流ハじえるむ江ニシテ、中流ヲ航遊スルモノハ、所謂迦濕密羅特有ノ樓船ト爲ス、